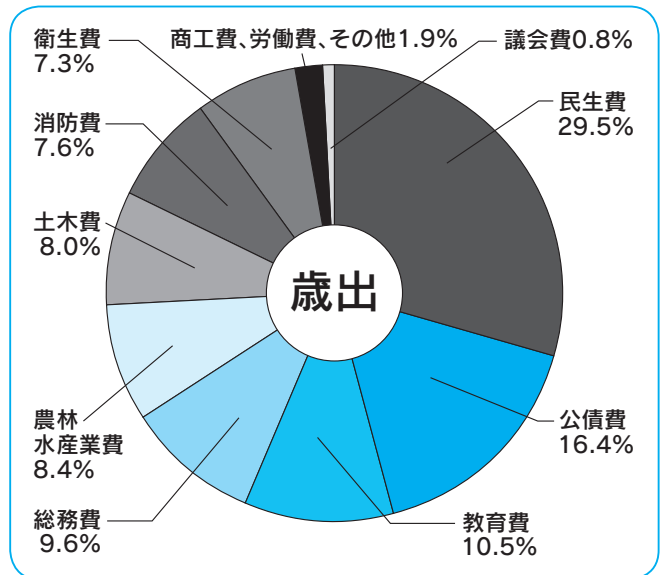
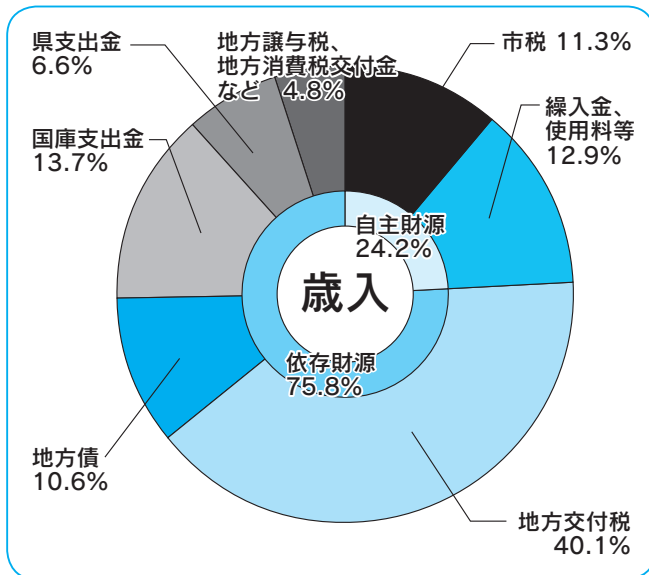




◎自主財源とは

市が自主的に収入できる財源のこと。代表的なものは市税。地方財政の自主性と安定性を確保する上では、歳入全体に占めるこの自主財源の割合ができるだけ高いことが望ましい。

◎依存財源とは

国や県により定められた額を交付されたり、割り当てられたりする収入のこと。代表的なものでは地方交付税や国庫支出金。地方債（市債）もこれに該当する。

新規



事業名 市制施行20周年記念事業
事業費 3,930万円
内容 市制施行20周年を記念して、式典の開催、映画製作等、様々な記念事業を実施。

新規



事業名 高齢者タクシー利用料助成事業
事業費 1,970万円
内容 市内在住の75歳以上の方を対象に、タクシー初乗り運賃を助成。

新規



事業名 犯罪被害者等支援事業
事業費 50万円
内容 犯罪被害者等の権利利益の保護や経済的負担を軽減するため、見舞金等を支給。

新規



事業名 国スポ・障スポ推進費
事業費 407万円
内容 令和8年開催「青の煌めきあおもり国スポ・障スポ」に向けた準備業務を推進する。

新規



事業名 庁舎照明改修工事
事業費 1億2,154万円
内容 蛍光灯の製造終了が見込まれることから、照明をLED化し、電気料金の削減を図る。

新規



事業名 難聴者補聴器購入助成事業
事業費 60万円
内容 18歳以上の軽度・中等度難聴者に、補聴器の購入費用の一部を助成。（上限3万円）

令和6年度 予算 可決

3月6日及び7日に行われた予算特別委員会において、令和6年度予算案が可決されました。市では限られた財源の中で行政サービスを行っています。税金がどのように活かされるのか、予算の概要をご報告します。(1万円未満四捨五入)

総予算額
337億6,530万円
令和5年度 一般会計予算額
221億円
↓
令和6年度 一般会計予算額
234.6億円
↓
令和5年度から
13.6億円の増額
(一般会計)

一般会計	234億6,000万円
特別会計 ※端数調整しています。	103億530万円
国民健康保険	43億6,671万円
後期高齢者医療	8億1,774万円
介護保険	51億2,084万円

公営企業会計		
下水道事業	収益的収入	11億3,018万円
	収益的支出	11億3,018万円
	資本的収入	8億1,099万円
	資本的支出	11億4,933万円

新規



事業名 拡大新生児スクリーニング検査費助成事業
事業費 92万円
内容 先天性疾患の早期発見のため、従来の検査に追加して行われる4疾患の検査費用を助成。

新規



事業名 農産物高品質安定化事業補助金
事業費 1,295万円
内容 つがる市特産メロンの高品質出荷の安定化を図る補助事業を行う。

新規



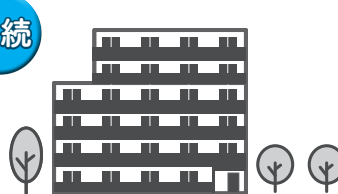
事業名 創業支援事業補助金
事業費 250万円
内容 市内での創業促進のため、新規創業者に対象経費の1/2・上限100万円を補助。(移住創業者は3/4・上限150万円)

新規



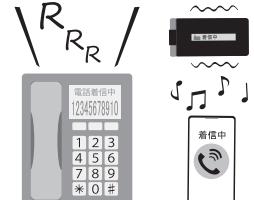
事業名 移動販売事業
事業費 942万円
内容 車力・稲垣地区の買い物弱者を支援するために、移動販売車を整備して買い物支援を実施。

継続



事業名 木造若緑団地建替事業
事業費 2,008万円
内容 令和13年度の完成を目指して、老朽化していた木造若緑団地の住宅を建て替える。

新規



事業名 小・中学校留守番電話機能追加工事
事業費 116万円
内容 教職員の勤務時間外における電話対応業務の軽減のため、電話設備に留守機能を追加。